

もう他人事ではない防災対策。神奈川県は…

神奈川県議会議員 石川ひろのり

「まさか家が被災するなんて」「この地域がこんなになるとは」。兵庫や宮城、熊本県など被災地に伺った際に聞かれた言葉です。この4カ月で大阪北部地震、西日本豪雨、台風被害、北海道胆振東部地震など甚大な被害が続いています。事前の備えや対策は重要ですが、私は各県市

町の災害担当者から話を伺う中で、災害発生後の対応がとても重要だと感じています。

我が街に置き換えると9月、台風の影響で関西国際空港に利用客など約8千人が取り残され、「情報や物資の不足」「バ

ス待ち9時間」等の状況が続きました。

りで難を逃れた話も伺いました。また「今何が足りないのか」「どこで何が配られるのか」など、避難所だけでなく地域で情報共有したことで、被災した中でも安心して次の準備ができたという話も伺いました。

規模災害が発生した時、私たちはどのような行動をすれば良いのでしょうか。神奈川県ではまず、命は自分で守る「自助」、救助・避難所開設などの「公助」、初期消火・避難などの「共助」の連携で防災対応力を高める取り組みを行っています。被災地では避難する際に、「〇〇さんがいない」「〇〇さんは足が悪いから声かけを」など、地域のつなが



石川ひろのり
1968年11月3生まれ／横浜市出身／サラリーマンを約20年経験／参議院議員政策秘書、衆議院議員 笠ひろふみ秘書など経験／麻生区在住

石川ひろのり
事務所
麻生区百合丘1-5-4
米山ビル202
044-455-6611
044-455-6614
<http://www.hiro-ishikawa.jp>